

北海道の外食産業をフランチャイズ&ライセンス形式で海外展開へ

シンガポール事務所

北海道内の外食企業の海外進出を支援する「外食産業海外展開実行委員会（事務局：札幌市）」は、10月29日から31日までシンガポールで開催されたアジア最大級のフランチャイズ・ライセンスのビジネス展示会「フランチャイズ・アンド・ライセンス・アジア 2015（FLAsia）」に初めて出展しました。

10回目を迎えるFLAsiaには日本貿易振興機構（JETRO）が日本のサービス産業の海外展開を加速させるため、ジャパン・パビリオンを初設置。アジア各国から参加した出展者とバイヤーとの商談で会場は熱気に包まれました。

1 FLAsia の概要

FLAsia は多くの有力なフランチャイズ候補者が真剣な商談を求めて来場する国際的な B to B フランチャイズ展示会です。フランチャイズ契約には、資本力が小さくても海外企業の資金や人材、ネットワークを利用することにより効率的に店舗展開ができ、ロイヤリティーによる安定的な収益が見込めるというメリットがあります。



また、アジア事業の拠点であるシンガポールで約 20 カ国、1 万人のバイヤーが来場開催することから、シンガポールのみならず周辺のアジア諸国やオーストラリアからの来場者も多く、出展することによりブランドの知名度向上に高い効果が期待できます。

2 北海道の外食産業を売り込む狙い

北海道からは札幌市内 4 社を含む道内企業 5 社がラーメンやスープカレー、イクラ丼やソフトクリームを出品。各企業は 8 月にシンガポールで行った実演販売のテストマーケティングで現地の好みの傾向を把握し、展示会に臨みました。

札幌市では北海道・札幌の魅力を海外へ発信する力が非常に高い「飲食業」について、北海道内の自治体等と連携して海外進出の支援を積極的に行っています。



活気に溢れるジャパン・パビリオン

シンガポールをはじめアジア各国で北海道の飲食店舗を出店することが、食の輸出を通じた北海道の経済振興のみならず観光インバウンドにも一役買うこととなるでしょう。

（佐々木所長補佐 札幌市派遣）